

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	社会福祉法人熊千代会 こぐま白雲北保育園	施設 種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会		

令和 2 年 10 月 23 日

総 評	<p>こぐま白雲北保育園は、平成26年4月に京都市から民間委託を受け、京都市営保育所から移管し開設された保育園です。周辺を閑静な住宅街に囲まれ、御所にも近く、落ち着いた環境にある保育園です。設立法人である社会福祉法人熊千代会は、平成19年4月にこぐま上野保育園、平成26年4月にはこぐま白雲北保育園と同時にこぐま保育園を開設し、3園を運営する設立15年目となる法人です。</p> <p>保育方針として「知育 体育 徳育」を三位一体として掲げ、日々の日課活動や体育活動と共に、農業体験など自然と触れ合う機会を大切にしたい保育実践を心がけています。特に自然体験については法人が所有する左京区にある「花背こども村」を活用し、川遊びや山登り、農業体験等の様々なレクレーションを通して、遊びながら体験出来る環境を提供しています。就学に向けては、総合幼児教育研究会の保育を基本として、自然と聴く力、観る力が養われるよう取り組んでいます。</p> <p>地域の子育て基幹ステーションとしても、未就園児を対象に、子育て講座の開催、園庭開放、地域の方の参加型園行事等にも取り組んでおり、園全体で、子育て中の保護者の気持ちになり、共に子育てができるよう支援しています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 各クラス保護者代表 2 名をお願いし、2 ヶ月に一度、保護者代表会議を開催し、その内容を全保護者に伝えていきます。 3 歳以上児は、日課活動や体育ローテーションと共に、法人所有の「花背こども村」や、提携する「氷室の郷」で自然体験や農業体験が出来るよう取り組んでいます。 給食は和食を中心に提供し、週 4 日は手作りおやつとしています。幼児では給食当番を決め、献立内容の確認や配膳や後片付けを行い、食について関心が持てるよう取り組んでいます。ホームページでは給食日よりして給食の写真を掲載し、レシピなども紹介しています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 理念、基本方針等の内容が、媒体によって表現が異なっていますので、整理され統一されるとより良いでしょう。 全体的な計画を作成しています。今後は、定期的に評価・反省を行い、次の作成に生かすとより良いでしょう。 虐待等の疑いについては、児童相談所と連携を取り、適切に対応しています。それらの記録や書類は整備されています。今後は、それらの内容を整理し虐待防止マニュアル等を整備し、職員に周知されるとより良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご注意ください】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	こぐま白雲北保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	2020年10月23日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	b

[自由記述欄]

・理念、基本方針は明文化されており、重要事項説明書、入園案内、チラシ、園内掲示、ホームページに明示されています。全職員には年度初めに開催する法人研修会で周知に努めています。今後は、理念、基本方針等の内容が、媒体によって表現が異なっていますので、整理され統一されるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	a
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	b

[自由記述欄]

・法人の理事長、園長、事務職員が出席する役職会議にて経営状況について把握・分析を行っています。また、地域の社会福祉協議会、民生児童委員の会議、地域ステーション会議などには全て出席するようにし、地域ニーズの把握にも努めています。昨年度より新規事業として職員の為の企業主導型事業や学童保育事業を始めています。

・年2回、職員アンケートを実施し、法人に対する意見を募っていますが、まだまだ役員で決定した内容を実施する傾向があります。今年度より現場職員数名が、法人理事に就任する事となり、現場の意見を含めた経営課題を明確にし、具体的な取り組みに繋がれるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	b
		5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	b
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	b
		7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	b

[自由記述欄]

・園運営に関する単年度の計画は策定していますが、収支を伴う中・長期計画については策定されていません。今後は、3~5年を見据えた具体的な中・長期計画を職員等の意見を反映させたうえで策定されると良いでしょう。策定された事業計画について、必要な内容を入園説明会で、現在実施されているような形で説明されるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	a
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	b

[自由記述欄]

・月2回の正職員会議（うち1回は園外研修内容発表会）、週1回の主担任会議を実施し、園長は全てに出席し、園の方針に沿った保育内容が職員間で共有されるよう取り組んでいます。また、定期的に第三者評価を受診し、第三者評価委員会の設置によりマニュアルの整備や、職員への周知に努めています。今後は、精度をさらに高められるとより良いでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	b
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	b
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	a

[自由記述欄]

- ・園長は、自らの役割と責任を表明しています。今後は、不在時の権限委任等について明確化されると良いでしょう。
- ・園長は、各年齢の中・長期の指導計画に対する評価・反省を主任と協働して確認し、常に保育を振り返り、職員と共に改善出来るよう取り組んでいます。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	a
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	b
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	a

[自由記述欄]

- ・人員体制に関する基本的な考え方や人事管理に関する方針、法人独自のキャリアアップ表が確立されています。
- ・職員アンケートを実施し、就業状況や意向の把握に努めています。今後は、一定の基準に基づく人事考課等を実施されるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	a
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	a
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	b

[自由記述欄]

- ・職員一人一人に個人目標が立てられる自己評価シートを作成し、年2回管理者との面談の中で、目標に対する達成度や振り返りを行っています。
- ・職員の教育・研修に関する基本方針が明文化されています。また、希望者には発達コーディネーターや子育て支援員の資格取得を支援しています。
- ・実習生・ボランティアマニュアルに沿って養成校の意向を考慮しながら、効果的な実習が行えるよう努めています。今後は、実習指導者に対する研修をマニュアル等で明記し、都度実施されるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-3 運営の透明性の確保	Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	a
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	b
[自由記述欄]					
<p>・財務諸表等の情報は、法人ホームページで公表しています。また、各クラス保護者代表2名をお願いし、2ヶ月に一度、保護者代表会議を開催、その内容を公表し、情報公開に努めています。</p> <p>・法人で経理上のルールを設けるなど、適正な運営が実施されるよう努めています。今後は、外部監査による事業や税務に関するチェックを実施されるとより良いでしょう。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	a
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	a
	Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	a
	Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a	a
		27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	a
[自由記述欄]					
<p>・毎月、子育てサービス事業や地域参加型の園行事などに関する情報誌を発行しており、地域の福祉事務所や関連施設で手に取ってもらえるよう配布しています。また、地域参加型の夏祭りや餅つき大会の開催、「青空ライブラリー」と称して出前保育の実施、近隣のデイサービスを定期的に園児が訪問するなど交流を図っています。それらは全体的な計画に明記されています。</p> <p>・地域子育て基幹ステーションとして児童館と連携し、園庭・保育室開放や育児相談、子育て講座などを実施しています。</p> <p>・地域の自治会に対し、災害時の避難場所として園を開放する事を伝えており、災害時の備蓄も行っていきます。</p>					

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	a
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	a

[自由記述欄]

- ・年度初めの法人研修会で、子どもの人権や、一人一人の人格を尊重する事を周知・徹底しています。
- ・個人情報保護に関するマニュアルを作成し、ホームページ等に掲載する写真掲載についても、書面で承諾を得るようにしています。
- ・園見学を随時受け付けています。園長が案内するようしており、見学者には園のパンフレットを配布し、質問等にもその場で答えられるようにしています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	a
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	a
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	a

[自由記述欄]

- ・苦情解決の方法が定められており、入園のしおりで保護者に説明しています。行事ごとに匿名の保護者アンケートを実施し、自由記述欄を設けるなど、要望等が出しやすいよう工夫しています。また、0歳児から5歳児まで連絡ノートでのやり取りを実施したり、各クラス保護者代表2名をお願いし、2ヶ月に一度、保護者代表会議を開催し、その内容を全保護者に伝えています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	a
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	a
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a	a

[自由記述欄]

- ・リスクマネジメントリーダーを設置し、ヒヤリハット報告書を分かりやすく配置図として作成し、職員会議で改善等について周知しています。
- ・感染症に関するマニュアルが整備されています。感染症が発生した場合は、衛生医療センターに連絡し指示を仰ぎ、個人の名前が特定出来ないよう人数を公表し、対応方法も掲示しています。
- ・災害時の対応方法が確立されており、災害発生時に全園児が数日間過ごせるよう食料や備品類を備えています。また、災害時の一斉メール配信だけでなくライフラインが途絶えた時の為に災害用伝言ダイヤルを保護者に知らせています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質 の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な 実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b	a
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	a
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉 サービス実施計画が策定されてい る。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	b
		43	② 定期的な指導計画の評価・見直しを行っている。	b	b
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に 行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	a
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	b

[自由記述欄]

- ・保育についての標準的な実施方法が「保育統一事項」「日常のこころえ」として文書化されており、各クラスに備えると共に、その内容は定期的に見直しを実施しています。
- ・年間指導計画、短期指導計画の内容は、毎月の職員会議で評価・反省を実施し、全体的な計画の方向性を反映したものとなっています。今後は、担当職員だけでなく関係職員にも周知する方法を工夫されるとより良いでしょう。
- ・子どもに関する記録の管理規定が確立されています。今後は、個人情報の不適切な利用や漏洩に関する対応方法を規定内に明文化されるとより良いでしょう。

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	a	b
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b	a
		48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	a

[自由記述欄]

・ 今後は、全体的な計画の定期的な評価・反省を実施し、次の作成に生かすとより良いでしょう。

・ 保育室の環境は、子どもが心地よく過ごす事が出来るよう整備しています。2歳児から机と椅子を配置し「総幼研」を中心とした日課活動や体育ローテーションを実践しています。それらの活動に参加しない場合は、保育者が見守ったり、人形などで子どもを楽しませる工夫を行っています。半袖保育を行っています。

・ 日課活動以外の時間では、それぞれの発達に応じた玩具で自由に遊べるようにしたり、子ども自身が選択できる環境を大切に保育を行っています。また月1回、5歳児を対象に和室でお茶の教室を開いています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b	b

[自由記述欄]

・ 乳児保育から、月2回「クボタメソッド能力開発教室」の講師に個人の発育に応じた関わり方について学び、個々に寄り添った保育が出来るよう取り組んでいます。また、毎週外国人講師と共に英語で遊ぶ環境を提供しています。

・ 1・2歳児の保育については、ゆるやかな担当制に取り組み、子ども一人一人に対する丁寧な関わりを心がけています。

・ 3歳以上児は、日課活動や体育ローテーションと共に、法人所有の「花背こども村」や、提携する「氷室の郷」で自然体験や農業体験が出来るよう取り組んでいます。3歳児の途中より必要な場合を除いて午睡をなくしています。

・ 長時間保育は、落ち着いたあるくつろいだ雰囲気の中で行っています。今後は、指導計画等に長時間保育についての位置づけを明記するとより良いでしょう。

・ 小学校に繋がるよう、毎日の日課活動の中で繰り返しのリズムによる学習によって、聴く力や観る力が養われるよう取り組んでいます。今後は、保護者が就学以降の子どもの生活に見通しを持てる懇談等の機会を設けるなど工夫されるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	a
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a

[自由記述欄]

・年2回健康診断、年1回歯科検診を実施し、その内容は保護者に個別文書で知らせています。また、その結果で職員間で共有が必要なものについては、会議で周知対応しています。

・アレルギー疾患を持つ子どもに対しては、専門医の指示に基づいて除去食を提供し、誤食防止の為のチェックを前日、当日の2回実施しています。

・給食は和食を中心に提供し、週4日は手作りおやつとしています。幼児では給食当番を決め、献立内容の確認や配膳や後片付けを行い、食に関心が持てるよう取り組んでいます。ホームページでは給食日よりして給食の写真を掲載し、レシピなども紹介しています。誕生月の子の親は誕生会で給食と一緒に食べ、保護者から給食について意見を聞くようにしています。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	a
	A-2-(2) 保護者の支援	63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	b
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	b

[自由記述欄]

・全園児に連絡ノートがあり、子どもの健康状態や園に対する要望がある場合は、保護者に記入してもらい保育士に伝わるようにしています。保護者会はありませんが、各クラス2名の保護者代表者をお願いし2ヶ月に1度、保護者代表会議を開催し園との話し合いの場を設けています。

・虐待等の疑いについては、児童相談所と連携を取り、適切に対応しています。それらの記録や書類は整備されています。今後は、それらの内容を整理し虐待防止マニュアル等を整備し、職員に周知されるとより良いでしょう。

・保育士の自己評価を実施しています。今後は、それらを保育所全体の保育実践の自己評価に繋がられるよう取り組まれるとより良いでしょう。